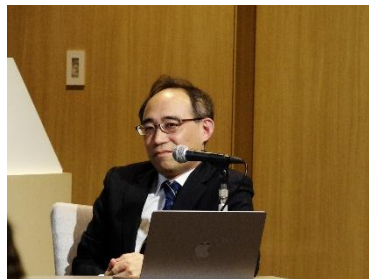


造血幹細胞の対称性・非対称性分裂の分子機構の解明

京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) 特定拠点准教授 山本 玲

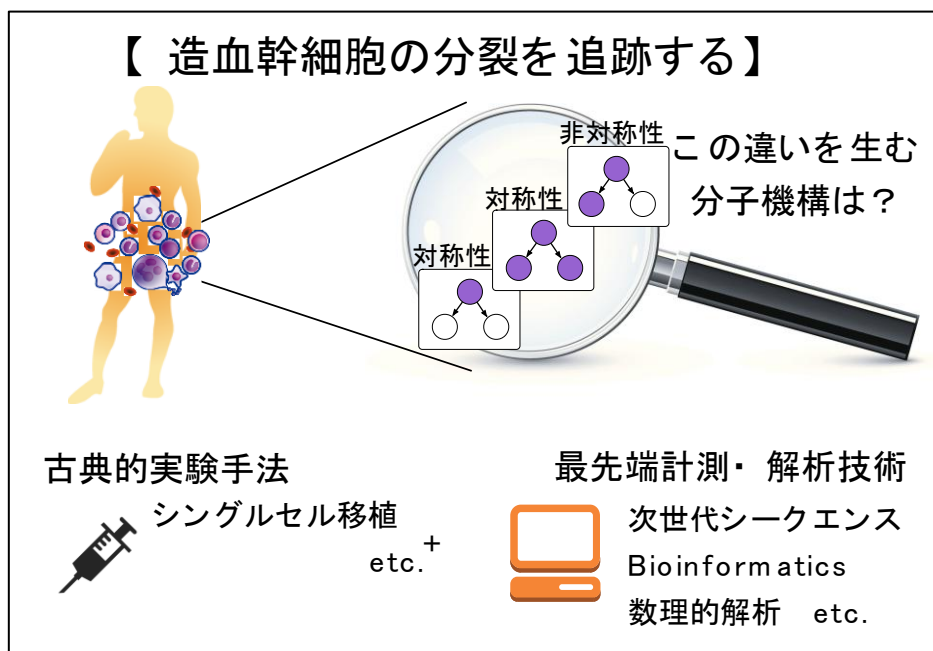
山本玲先生は2025年9月8日突然の病で急逝されました。山本先生は造血幹細胞のシングルセル移植という唯一無二の技術を武器に、血液学分野の最大の課題の一つである造血幹細胞の自己複製・分化・細胞系譜決定の分子機構の解明を目指してこられました。着実に精緻な研究は高く評価されてきました。亡くなる前にも次の実験の計画をされていたようです。志半ばでのご逝去の報は大変悲しく残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



SunRiSE 研究討論会にて
(2025. 3. 14)

採択時の研究概要



造血幹細胞は自己複製（自らを複製する能力）と多分化能（すべての血液細胞を産生する能力）という二つの大きな特徴を持ち、その恒常性は、対称性分裂と非対称性分裂を介し自己複製と分化を繰り返すことで維持されています。この造血幹細胞の基本的現象の分子機構を完全に理解することが本研究の目標です。これを理解することにより、さらに造血幹細胞機能の破綻による加齢や疾患研究への波及効果も期待できます。



SunRiSE 採択式
(2020. 12. 7)